

たこやき協騒曲

(上演時間 約25分)

作・清田明世

● 登場人物(格付けイメージ)

- たこやき1(年長・ひっぱりリーダー)
- たこやき2(年長・ひっぱりサブ・途中で一時悪役になります)
- たこやき3(年長・群れ型)
- たこやき4(年長・群れ型)
- たこやき5(年中・しつかり者)
- たこやき6(年中・賢い系)
- たこやき7(年少・気弱)
- たこやき8(年少・気弱)

店主の声

客の声

● あらすじ

舞台はたこやき屋さんです。鉄板の上で、アツアツのたこやきたちが、気持ちよさそうに焼かれています。カリッと美味しく焼けたら、次は自分が商品になる番。そう信じていたのに、いつの間にか、お店がヒマになっちゃった…。たこやきたちは、次こそ「自分が先」とばかりに、出番を争い始めます。順番無視、約束破り、やりたい放題。ついにはケンカもしちゃう始末。そんな時、たこやきたちにアクシデント発生！争ってはいけない。力を合わせなきゃ。みんなで協力して、生き残るんだ！

みんなは一人の為に。一人はみんなの為に。

● 音楽・効果音

舞台を鉄板に見立て、舞台上にはたこやきたちだけ、という設定です。ラテン、サンバ、などのノリの良い曲調の音楽や、適所で効果音があれば、より舞台に臨場感ができます。

たこやき1
たこやき2
たこやき3
たこやき4
たこやき5
たこやき6
たこやき7
たこやき8

店主の声

店主の声

店主の声

客の声

舞台は、たこやき屋。鉄板の上。

ジュー、ジューと、美味しそうに焼ける音。

たこやき1〜8は、時折、舞台上でクルクルと回っている。店主に串で回されている感じ。

すみませ〜ん。

たこやき、1パックください。

へい、いらつしやい。

カサカサと袋に詰める音。

たこやきたちは、時折クルクルと回る動作を繰り返す。

へい、お待ち。300円ね。

おおきに。

再び、ジュー、ジューと、焼ける音。

あ〜、いっとき忙しかったなあ。
昼メシ食い損ねた。

再び、ジュー、ジューと、焼ける音。

たこやきたちの会話が始まる。

ねえ、そろそろかしら♪

いくい感じじゃない♪

わたしたちの番♪

次かしら♪

やっ和中まで火が通った。

ちよとタコが大きかったですね。おなか

いっぱいです。

オジサン、サービスすぎ。

いつものこと。

たこやきたち、機嫌よくクルクル回る。

ジュー、ジューと、焼ける音。

(効果音)

威勢よく。

(効果音)

(効果音)

独り言をつぶやくように

(効果音)

期待するように

嬉しそうに

ワクワクしながら

たこやき1と6は優等生風

おなかを重たそうに

控えめに。可愛く。

同じく可愛く

(効果音)